



CLUB OFFICE
京都YMCA 三條本館
京都市中京区三条通柳馬場角
TEL 075-231-4388

THE Y'S MEN'S CLUB OF

Kyoto Prince

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y' S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

2011

8

Bulletin

2011.8.1発行

第26巻第1号通巻307号

主
題

国際会長 Audere est Facere - To dare is to do とにかくやろう - 成せば成る
アジア会長 To dare is to do とにかくやろう - 成せば成る
西日本区理事 ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献 理想を目指して変革と行動！
京都部部長 志を共有し、小さな一歩大きな前進 ~思いやりと感謝の気持ちで粘り強く~
メネット主任 メンと共に歩める喜び

聖
句

マタイによる福音書5章9節
平和を実現する人々は、幸いである、/その人たちは神の子と呼ばれる。



『蘇れプリンスクラブ 25周年を迎えて』

初代会長 廣井 武司

1986年2月、パレスクラブ役員会にて新クラブ設立を決定、このとき11名のキーメンバーが公募により決定し、新クラブ設立にむけてスタートが切られました。設立準備委員会の発足、仮役員会のスタートと8月に控えた設立総会までは、新クラブの準備とパレスクラブの例会・委員会への出席(これはこのクラブ設立のためにご指導いただいた故・宮本設立準備委員長の親クラブから感謝をもって巣立つよとの思いを込めての強い指示があったものです)と11名のキーメンバーにとっては、非常に厳しいスケジュールが待っていました。しかし、忙しすぎるとか辛いとか泣き言を言ったメンバーは誰一人いみませんでした。6月には「メンバー候補の集い」を開催、みんなで声掛けした人たちが本当にきてくれるか、不安と期待が交錯し、当時仮例会場としていたホリデーイン京都のロビーと例会場を行ったり来たりしました。そしてこの日の緊張は今も忘れることはありません。

8月の設立総会にはメンバーは23名になりました。ほとんど毎日のように顔をあわせ、会わない日は電話で話すなど、家族、メネットの協力を得て毎日夜はワイズ、ワイズで過ぎてゆきました。この年の12月のチャーターナイトを迎えるまでに、11回の仮例会と、14回の役員会、6回のチャーターナイト実行委員会をもち、メンバーは28名になってプリンスクラブは仮クラブから正式に国際協会の認証を受けることができました。(ちなみにプリンスクラブのチャーターデイトは1986年11月11日です)

私自身、パレスクラブ入会から5年程度と記憶していますが、こんな大きな出来事を経験すること、そしてそんな勇気が出たのは、そこに一緒に行動してくれたメンバーとの強い「絆」以外のなにものでもないと思います。そこには素晴らしい仲間がいました。初代会長として、このプリンスクラブに集ってくれたメンバーを期待はずれにすることは

できません。設立時の目標として、世俗の論理を持ち込まず、笑顔溢れた、本当に楽しいクラブを目指し邁進しました。例会・委員会を大切に、各事業の事前準備・事中専心・事後反省をお願いして、ファミリーを大切にメネット、コメントと一緒にまきこんだプログラムを取り込み、メンバー間、そしてファミリー間の交流を深めてゆきました。

ときには、激しく議論を交わしたりもありましたが、感情的になるのではなく、みんなが最後にはお互いを認め合って、自我を貫きとおすことはありません。なぜならみんなの心の中にクラブを良くしていこうという共通の目的意識が存在していたからだと思います。

今期、25周年を迎え、いまクラブは大きな壁に直面しています。新しいメンバーが増えない上、退会に歯止めがかからない現状。入会間もない会員がクラブを去ることもあり、ここ何年かのクラブの問題点になっています。折角入会したのに何故こんなに簡単に去ってゆくのでしょうか？いろいろな人が集まりクラブを作っているのですから、それぞれの考えが存在します。それ故に自分が正しいと思っていることも、ほかの人にはどう見えているかは解りません。強引な言葉で押し付けるのではなく、みんなでお互いに許しあい理解しあう姿勢がいま必要ではないでしょうか。特に、人と人の関係は良ければ楽しくなるし、人も集まります。そしてその関係が悪ければ、おもしろくなくなり、その足は遠のきます。気をつけなければならないことです。入会候補の人へのオリエンテーションも行い、クラブの魅力や良さを説明して入会されたのに、残念なことです。「愛にもとづく自己研鑽」の場であるべきクラブの雰囲気は変わってきていませんか？一度振り返ることも必要かもしれませんね。

ここ何年か、会員増強をクラブの重点課題として取り組んできましたが、ほとんど成果が上がりません。EMC委員長失格です。どうか若くて活力みなぎる委員長と交代させてください。いま、そのためにも若い会員を探してください。創成期とまではいなくても、若い会員をさがして、平均年齢をドンと下げましょう。そしていい笑顔いっぱいニュープリンスをめざしてみんなでクラブライフを楽しみましょう。

会長主題

全ての者が
一つと成る為に

みんな仲間
生涯の友となろう！

会 長 岡西 博司
副会長 小野 敏明
三村 良行
書 記 西村 博
会 計 荒木 利彦

強調月間

Youth Activities

8月 例会案内

3日(水) 通常例会
設立25周年記念事業に関する意見交換を行います。活発な意見をお聞かせいただき、よりよい周年事業を目指しましょう。

20日(土)~21日(日)

青い空と白い雲キャンプ
京都YMCAが主催する病気を持った子供達のキャンプに参加しお手伝いをする事を、岡西会長は例会とされました。我々にとっては、初めての試みです。多数ご参加ください。

例会出席

7月第一例会	10名
7月第二例会	10名
在籍者数	14名
広義会員数	2名
出席率	91.7%

BFポイント

切手	0円
現金	0円
累計	0円

ファンド

	0円
--	----

累計 0円

ニコニコ

7月第一例会	0円
7月第二例会	1,000円
累計	1,000円



第一例会 納涼例会

2011.7.9
永濱貴章



去る7月9日にキックオフ納涼例会が、三条木屋町上る「モリタ木屋町店」にて開催され、いよいよ岡西会長期の始まりであります。プリンスのメンバー、メネット二人、ウエルクラブより二人、みやびクラブ中原ワイズを含め多数の参加が有り、涼しいお部屋で熱い「すき焼き」とビールを食しながら和気藹々

とした時を過ごしました。途中、みやびクラブ中原ワイズより京都部部会のインフォメーションが有りました。プリンスクラブは例会振替という事もあり皆で参加し部会を盛り上げ楽しんで来ましょう。

今期岡西会長主題「全ての者が一つと成る為に」(みんな仲間生涯の友となろう)をスローガンに一致団結してこの一年行動し、所信表明の中に「本当の友を作る事から始めましょう。心の底から信じあえる仲間作りから始めましょう。生涯の友の成れるよう努力しましょう。」と書かれておられますが、私も同感であります。

ワイズメンとしての喜びを持ち続ければ、友人知人にワイズメンズクラブは、こんなに素晴らしい友がいて、素敵なんだと話せると思います。この事が会員増強に繋がり、プリンスクラブの発展になると考えます。「全ての者が一つと成る為に」を合言葉に頑張らしましょう。

第二例会 定時総会

2011.7.20
プリテン委員会



今期2つのグループに分けられた各事業委員会の計画案が、廣井ワイズ、森ワイズの2人の委員長から提案されました。その後、荒木会計から予算案が提示され、前期に続き今期も一般会計では赤字覚悟の予算案になっていましたが、その事に関しては誰からも質問は無く、メンバーは仕方がないと思っている様子でした。ただ特別会計の中の20周年記念事業費の扱いに関して、森直前会長から意見が述べられ、25周年記念事業費へと引き継がれる事となりました。また25周年記念事業委員会から出された事業計画案に関しては、じっくりと検討する必要があるとの事で、8月第一例会で全員参加での意見交換を行うということが決まっております。この件に関しては先送りとなりました。

8月第二例会は、定時総会。まずは、直前森会長から、この一年間の総括です。「一人が一人を誘ってメンバー倍増」を会長目標として会長を務めたのですが、私の力不足で結果は敗退、一人の新メンバーを迎えに過ぎませんでしたと、詫言われました。

その後、各委員長さんが事業報告をされた中で、CS事業として今後継続して聴覚障がい児キャンププログラム研究会「マイマイ」の支援を続ける事としましたとの報告がありました。続いて永濱会計から決算報告がなされ、金丸前直前会長が、報告は適正であると監査報告をされ、事業報告も会計報告も満場一致で承認されました。

前期と今期の役員の入替わりがあつて、岡西会長が壇上へ登られ、主題への思い入れを力強く話されました。岡西会長らしい思いだなぁと、皆は了承したのでは…。そして

今期は、ウエルクラブの参加の下に例会を運営するという事で、この総会にはウエルクラブも参加されており、配布された事業計画案に目を通しながら松田会長の思いを聞かせていただきました。その後、小野ワイズと松田ワイズのハッピーバースデーを行い、約15分ほどの延長で例会終了しました。



サバエキャンプ場開設ワーク

2011.7.10
荒木 利彦



7月10日、サバエキャンプ場開設ワークに行ってきました。当日は晴天に恵まれ、気温も35℃に迫ろうかというぐらいの暑さ、開会式から熱中症に気をつけて、(特に高齢の方が多いため)十分に水分補給して決して無理はしないようにという注意が促されました。

午前中の我がクラブの担当は、野外炊事場に置いてあるボートの移動、野外炊事場の清掃・釜戸の修理、炊事場周辺の草刈りでした。釜戸の整備はプロの三村さん、小野さんが担当。途中少しお手伝いさせていただきましたが、やはりプロの技術にはかないませんでした。炊事場の清掃・草刈りは全員で行いましたが、三木さんが去年に引き続き高圧ホースで炊事場の汚れを楽しそうに流

しておられたのが印象的でした。来期は三木さんがMy高圧ホースを持ってきてくれる(?)とのこと、期待しています(笑)

昼食は、定番の野菜カレー、キーマカレー、レッドカレーでデザートにはオレンジをいただきました。肉体労働の後の昼食だけあって、格別美味しく感じました。これにビールがあればと思いますが、開設ワーク中はもちろん禁酒でした。

午後からはフィフティロッジ付近の草刈り。草刈り機担当は廣井さんと私。二人とも草刈り機を担いでエンジンをかけた後は、無言でそこら中の草や木を根こそぎ刈り取って行きました。私は日頃の仕事のストレス発散とばかり、上司の姿を思い浮かべ草刈り機を振り回していましたが、廣井さんは何に対するストレス発散なのか、同じように振り回されていました。

今回の開設ワークは、暑さをしのいで途中休憩を入れてのものでしたが、皆様のお陰で円滑に作業ができ充実したものとなりました。参加メンバーの皆様お疲れ様でした。8月のキャンプではきれいになったキャンプ場で子供たちが充実した時間を過ごしてくれることを祈ります。



すいかファンド

2011.7.下旬
森 伸二郎

スイカの美味しい季節到来！今年も、ここ数年プリンスがやってきたスイカファンドを、他クラブでもファンド事業として成り立つように配慮し、スイカファンドを他クラブへもアピールしました。まずは、会長会でアピール、そして京都部ファンド懇親会で廣井委員長がアピール。出足はそれほど反応がなかったのですが、直前になってブレイク。結局昨年を大きく上回って約240玉を販売する事ができました。5年前に私の車に積めるだけ(約30玉)持って帰って始めたファンド。昨年からは2週続けて信州松本へ取りに行く事になり、生産者の中野さん(松本クラブ所属)曰く、「1日に収穫出来る量が決まるから、1回に持って帰れる量は200玉が限度だね。いくら大きなトラックを持って来てもダメだじ」という事でした。そしてファンドに協力してくださった人からは、「あのスイカ、本当に美味しいね」の声が聞こえました。来年もまたやるゾ～～！

サンライズだより

サンライズは今年度、1996-1997年度以来の危機を迎えています。期首の在籍者が16名(担当主事を含む)になってしまいました。退会者7名のうち、転会が2名、コトブキ退会が1名、その他はご多分に漏れず多忙と介護です。多忙の方は現役でない者にとって無縁のことですが、介護は否応なしに迫ってくる宿命のようなもので、いつわが身に訪れるか、所詮時間の問題と思われます。その時にはたしてワイズを続けられるか、とても自信は持てません。なってみなければ分からないことをあれこれ考えるよりも、今のワイズライフを楽しみたいと思います。

西条だより

7月は納涼例会とし、一応例会のかたちをとり開会挨拶・ワイズソングを歌いました。メンバー以外の方も参加してください、ピアノ演奏を聴きながら、生ビールを頂き和気あいあいと楽しい時間を過ごしました。そのなかで一名ほど入会して下さる方がありそうで、取らぬ狸の・・・が成功しそうで期待しています。



全国のYMCAでは、「YMCAの願い」として、①「自分のいのちとみんなのいのちを大切に

にすること」②「家族、地域のひとりとして責任があること」③「世界と地球を見つめ、考え、行動すること」④「ボランティア精神とリーダーシップを身につけること」⑤「すこやかな心とからだを育むこと」を、すべての活動を通して取り組んでいます。

この夏も、多くのプログラムを通じて、参加者は勿論ご家族の方々、関わるボランティア、その活動を支える方々が、それぞれの立場で体験し取り組んでくださっています。特に、この夏もワイズメンやボランティアの方々によって、課題を抱える青年や子どもたち、災害によって困難な状況にある子どもたちやご家族に、少しでも寄り添うことができる活動が計画し実施されています。

YMCAでは、これまで実施しています一つひとつの事業やプログラムを、これからも大切に運営し、更には新たに生まれる社会の課題の解決にむけて取組みを行っています。

その一つとして、「AIDS文化フォーラムin京都」を市民活動の事業として、(事務局: 京都YMCA)8月と10月に実施いたします。お支えいただけますようお願いいたします。



Happy Birthday

8月29日 金丸太一郎ys

8月 スケジュール

- 3日(水) 第一例会
19:00 グランドプリンスホテル
- 5日(金)～7日(日)
アジア大会 台湾
- 20日(土)～21日(日) 第二例会
青い空と白い雲キャンプ
京都YMCAサバエキャンプ場
- 28日(日) エイズ文化フォーラム
10:00 花園大学
- 31日(水) 役員会
19:30 京都YMCA

YMCA NEWS

1. ワイズワーク感謝!

6月26日(日)にはリトリートセンター開設ワーク、7月3・10日(日)にはサバエキャンプ場開設ワークのご奉仕、多くのワイズメンのご協力ありがとうございました。おかげさまで、夏のプログラムも順調にスタートすることができました。“多くの子供たちに素敵な夏を”とYMCAスタッフ、ボランティアリーダー一同、プログラムの工夫やトレーニングに懸命にがんばっております。また、9月4日(日)にはリトリートセンター秋期準備ワークを予定しております。よろしくご依頼致します。

2. 後期募集のお知らせ グローバルアウトドアクラブ・スイミング・体育

一般の方の後期募集がはじまります。お知り合いの方でご興味のある方がいらっしゃいましたら是非お勧めください。ご継続の方で定員に達しているクラスもございます。詳しくはお問い合わせください。お問い合わせ・お申し込みともに下記まで。
グローバルアウトドアクラブ 9月8日(木)から 受付 電話(075)231-4388
スイミング・体育 9月8日(木)から 受付 電話(075)255-4709

3. 「第1回AIDS文化フォーラムin京都」～エイズを知ろう エイズで学ぼう～

主催: AIDS文化フォーラム in 京都
共催: 京都府、京都市
事務局: 京都YMCA(事務局長 神崎)
1) 8月28日(日) 10:00～17:00(予定) 場所: 花園大学 入場料: 無料
A. 「さらば、哀しみの青春---夜回り先生からのメッセージ」
講師 水谷修先生(花園大学客員教授、株水谷青少年問題研究所)
B. 「赤ちゃんが教えてくれたHIV ～妊娠時の検査でHIV感染がわかって～」
講師 石田心さん・岩室紳也先生
HIV/AIDSは他人ごとと思っていたら…。感染告知から受け入れ、伝え、そして子育てに奮闘するまでを主治医と振り返ります。
C. フロア参加型講演
「若者向け性感染症予防教育のあり方」～親、教師、保健師に共通する目標とは～
講師 岩室紳也先生

役員会報告

- 北野功治ワイズ 広義会員とする
- 西堀ワイズ引き続き広義会員とする
- 小泉洋君 6月末で退会以上、承認されました。

(公益社団法人地域医療振興協会、ヘルスプロモーション研究センター長)

2) 10月1日(土) 10:00～18:00、2日(日) 10:00～16:30

場所: 龍谷大学大宮学舎東翼 入場料: 無料
講演、ワークショップなど(若者の視点から 文化の視点から 陽性者の視点から 医療の視点から 教育の視点から セクシャリティーの多様性を理解するという視点から 等)

4. ボランティアセミナーのご案内

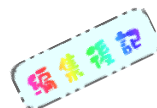
A ちよこつとボランティア 視覚障がい者サポートの講習会

障がい者も高齢者も子どもも、だれもが地域の中で一緒に生活し、社会参加をする「ノーマライゼーション」の考え方が最近では多くの人に受け入れられつつあります。いろいろな設備を整え、だれにでも行動しやすい環境を作ることは大切です。しかし、そういったハード面の完備を待つより前に、周囲の人がさげなく声をかけ必要な援助をすることで、自由に行動できるようになる人がいっぱいいるのです。今回は、京都YMCA国際福祉専門学校の講師でもある松永さんに、当事者の立場から視覚障がいについて、また望ましいサポートについて語っていただきます。

講師 松永信也氏
[京都福祉専門学校・京都YMCA国際福祉専門学校非常勤講師・(社)京都府視覚障害者協会理事]
日時 8月27日(土)午後6時30分～8時30分
場所 京都YMCA(三条柳馬場)
参加費 お一人 300円
定員 30名(申込順)

B がん患者さんとそのご家族へ
第55回 苦しみ、悩み、不安を共有しませんか。この会は患者さんとそのご家族が抱えている苦しみや悩みについて、患者さん同士、そのご家族同士が話し合い、がんとうまく付き合うための情報交換の場です。

日時 8月20日(土) 午後7時～9時
場所 京都YMCA(三条柳馬場)
参加費 お一人 300円
※ABともお申込は京都YMCA
電話(075)231-4388または
vb@kyotoymca.or.jp



何とかMicrosoft Publisher の使い方がわかり、今月はそれを使ってブリテンを作成する事が出来ました。今までのホームページ作成ソフトに比べて、ずっと自由度が増し、表現力の豊かな紙面を作れると期待しているのですが、まだまだ私のスキル不足は否めません。追々より楽しい紙面を目指しますので、ご意見・ご感想をお聞かせください。